

Bコース①【介護と仕事の両立推進事業】

取組の実施状況

企業名	Wish 株式会社
所在地	東京都調布市国領町 2-7-7
業種	N 生活関連サービス業、娯楽業
常用労働者数	10
事業内容	美容ネイル店舗運営
ホームページ	https://wish-salon.com/
1 ニーズ調査	
① 実施日	令和8年 1 月 23 日
② 方法	アンケート手渡し、記入後回収
② 回収率	対象者（都内勤務全従業員） 11 名のうち回収数 11 名 回収率 100%（回収数／対象者）
④調査結果 概要	（調査により明らかになった課題） 1. 現在の従業員の介護状況・介護対象者の有無 現時点において、日常的に介護を理由として休職・離職している従業員は確認されなかった。一方で、親世代が高齢期に入っている従業員が一定数存在しており、将来的に介護に直面する可能性があることが把握された。現段階では顕在化していないが、潜在的な介護リスクは内在している状況にある。 2. 今後の従業員の介護見込み アンケート結果から、将来的に介護が発生する可能性を認識している従業員が複数確認された。美容室という少人数体制の業態特性上、1 名の勤務制限や離職が事業運営へ与える影響は大きく、中長期的には経営上の重要課題となることが想定される。 3. 就業規則・規程内の介護関係制度に関する認知状況 就業規則上には介護休業等の制度を整備しているものの、アンケート結果からは、 ・制度の具体的内容を十分に理解していない ・制度があること自体を認識していなかった という回答が確認された。 制度の形式的整備に対し、周知・理解の浸透が十分でない実態が明らかとなった。 4. 介護と仕事の両立に関する不安 従業員からは、介護が発生した場合の・収入減少・顧客離れ・他スタッフへの負担増・長期的な就業継続への不安が挙げられた。特に担当顧客制の業態においては、休業による顧客基盤への影響を強く懸念する傾向が見られた。 5. 介護が続いた場合の望ましい働き方・社内制度 多くの従業員が、退職ではなく「働き方の調整による継続就労」を希望していることが確認された。具体的には、 ・短時間勤務・勤務日数の調整 ・柔軟なシフト運用・一時的な業務軽減等への要望が見られた。 ■ 調査からの総括 本調査により、現時点で介護は顕在化していないものの、将来的な発生可能性は十分に存在すること、また制度整備は行われているが従業員への周知・理解が十分とは言えない状況が明らかとなった。 今後は、制度の再周知および具体的運用方法の明確化を図ることで、従業員が安心して就業継続できる環境整備を進める必要がある。
2 プロジェクトチームの設置及び運営状況	
① 設置日	令和8年 1 月 6 日
② メン	総計 2 名（うち都内勤務の従業員 1 名）

バー	(メンバー内訳) 代表取締役、現場スタッフ			
③運営状況	開催日	開催時間	検討内容	参加者数
	1月 6日	11:00-11:30	活動内容とスケジュールの確認	2名
	1月 25日	15:00-15:30	調査結果概要説明、取組案の提示	2名
	2月 16日	11:00-11:30	取組案についての意見交換、確定	2名
3 策定した取組計画 (内容及び取組時期)				
令和8年4月～ 定期的な個人面談の実施 (年1回程度)				
令和8年5月～ 介護と仕事の両立に関する研修の実施 (年1回程度)				
4 経営者・管理職への体験型研修の実施				
有り・無し (いずれかに○)				